

● 巻頭特集：英語科における「教育の情報化」 ●

いつでも・どこでも・だれでもカンタン いますぐデキル！ IT授業

どうして授業でパソコンを使うの？

政府が掲げる「e-Japan戦略」のもと、すべての小中高等学校において、IT環境の整備が進められてきました。校内LANの整備、普通教室へのパソコンの導入など、「教育の情報化」実現に向けて、私たちの学習空間がいま変わろうとしています。

ところで、この「教育の情報化」のねらいとは、いったい何でしょうか。ひと言で言えば、新しい教育機器を活用して、生徒の主体的に学習する能力を育成する、ということになります。つまり、生徒が教員から与えられる情報を受動的に吸収するだけでなく、必要とする情報を自ら積極的に収集し、整理し、そして発信できるようになることを目指しているわけです。その実現に向けて、パソコンやインターネットは非常に有効な教育機器の1つと位置づけられ、私たちにはその積極的な活用が求められているのです。

いますぐ始める！ 何から始める？

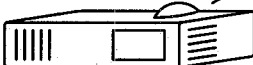
このような中、最近ではすべての普通教室にパソコンやプロジェクター、スクリーンを導入する学校が増えてきました。言うまでもありませんが、授業のすべてがパソコンで行われているわけではありません。IT授業を実践している先生の多くは、そうすることで生徒の理解が深まるところ、そうすることで時間短縮につながる場所など、効果的なポイントに絞ってパソコンをうまく活用されているのです。これはまさに、「目新しいから使う」ではなく、「効果的だから使う」という発想と言えます。

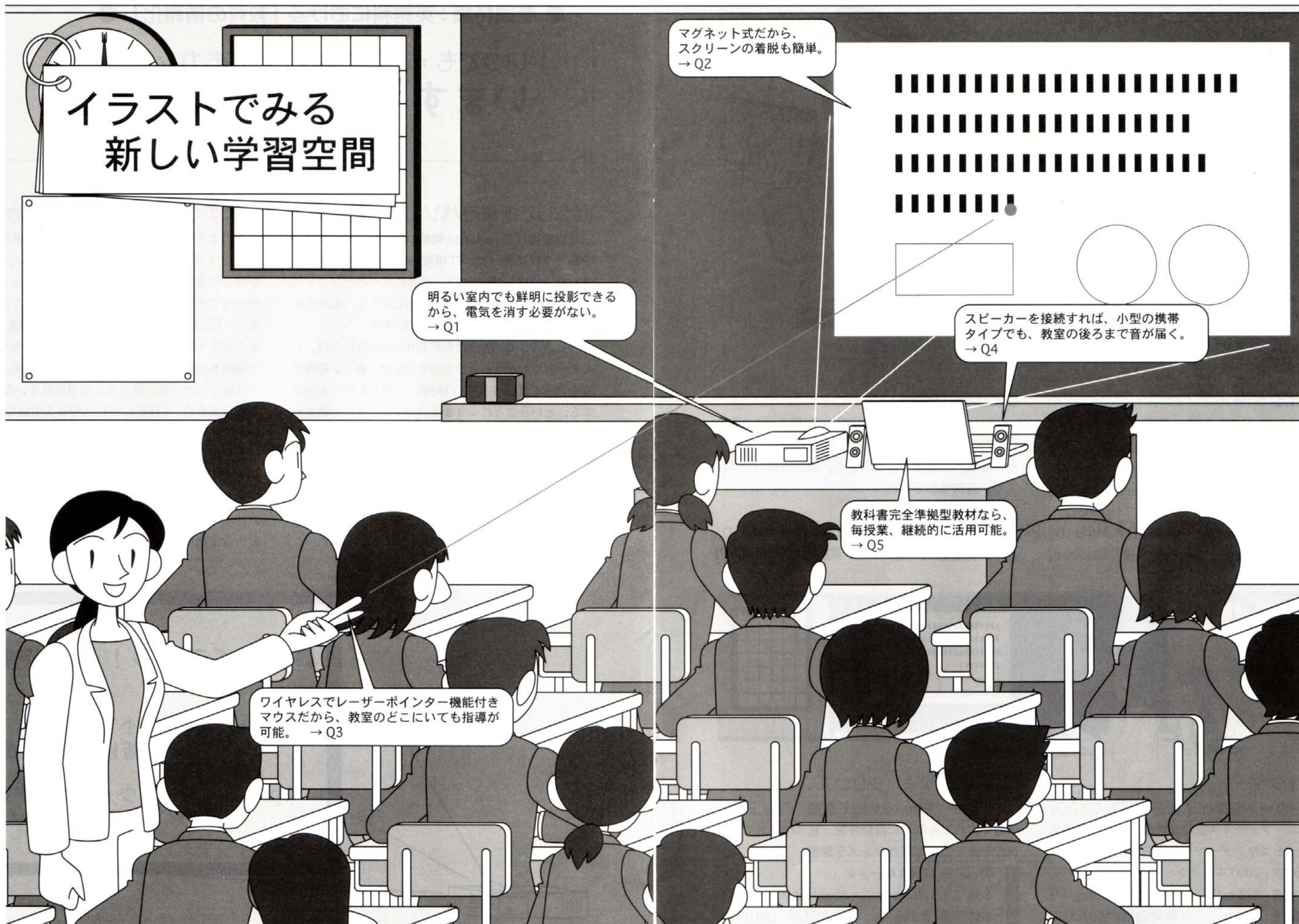
近年のIT機器の進化には目を見張るものがあります。高機能化はもとより、操作方法の簡略化により、その敷居は確実に低くなりつつあります。英語科における「教育の情報化」実現に向け、皆さんも最初の一歩を踏み出してみませんか。

いますぐデキル！ IT授業

pp.2-3 イラストでみる
新しい学習空間

pp.4-7 ハードウェアに関する
Q & A





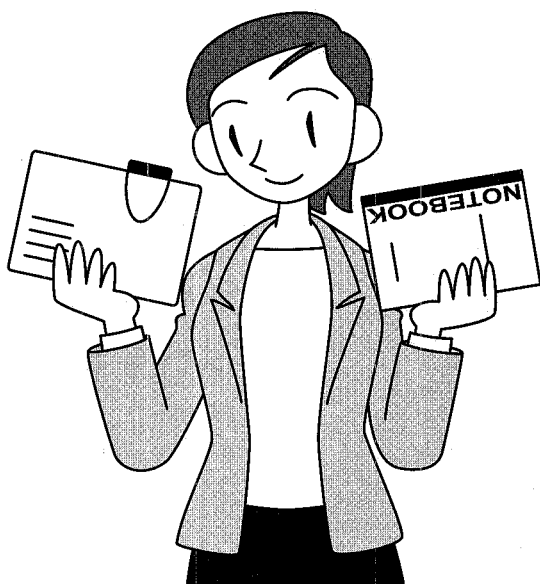
Q1. プロジェクターに関する質問

Q 教室でプロジェクターを使用する際、電気を消したり、投影サイズが小さかったりと、何かと不便では？

A プロジェクターには、明るい室内でも鮮明に投影できる製品があります。また、プロジェクター自体に拡大表示機能や壁色補正機能を備えたものもありますので、教室の後ろからでも十分読み取ることが可能です。

ポイント

小型軽量・拡大表示・黒板モード



参考商品

プロジェクター

(メーカー：PLUS / 型番：U5-512h)
B5ファイルサイズで、重さは約1.9kg。さらにデジタルズーム機能を搭載し、場所を選ばずプレゼンテーションが可能。

明るさ：2000ルーメン

本体寸法：216 mm (W) × 60 mm (H) × 240 mm (D)

本体重量：1.9kg 実勢価格：120,000 円

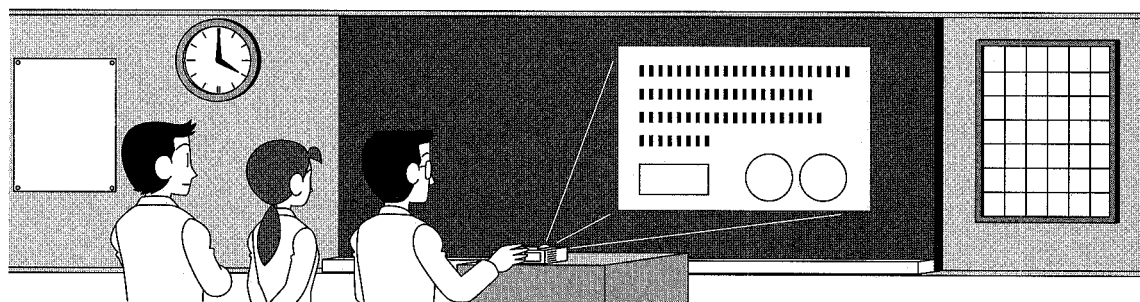
プロジェクター

(メーカー：NEC / 型番：VT48J)
「黒板モード」を含む8つの壁色補正機能により、既存の黒板への投影も可能。また、超短焦点レンズにより、近接投影を実現。

明るさ：1600ルーメン

本体寸法：309 mm (W) × 112 mm (H) × 258 mm (D)

本体重量：2.8kg 実勢価格：90,000 円



プロジェクター

(メーカー：SONY / 型番：VPL-CX20)
電動ズーム・フォーカス機能を搭載。離れた所からでもリモートコマンダーで調整可能。

明るさ：2000ルーメン

本体寸法：273 mm (W) × 52 mm (H) × 210 mm (D)

本体重量：1.9kg 実勢価格：150,000 円

プロジェクター シリウス Jr.

(メーカー：Panasonic / 型番：TH-LB20)
明るい室内でも鮮明に投影可能。省スペースで大画面投影が可能な短焦点レンズを採用。

明るさ：2000ルーメン

本体寸法：297 mm (W) × 65 mm (H) × 210 mm (D)

本体重量：2.1kg 実勢価格：180,000 円

Q 2. スクリーンに関する質問

Q スクリーンがないと、プロジェクターは利用できないのでは？

A スクリーンの代わりに、ホワイトボードに投影することも可能です。投影物上に直接マーカーで書き込みができるため、非常に便利です。また、黒板への着脱が容易なマグネット式スクリーンなら、携帯性にもすぐれ、持ち運びが苦になりません。

ポイント

マグネット式・書き込み可能

Q 3. マウスに関する質問

Q マウス操作にかかりっきりで、パソコンの傍から離れられないのでは？

A プレゼンテーション用マウスをご利用ください。ワイヤレスのため、行動範囲が制限されません。さらに、レーザーポインター機能付きのものなら、教室の後ろからでもポイントアウトすることが可能です。

ポイント

ワイヤレス・レーザーポインター

参考商品

マグネットスクリーン

(メーカー：IZUMI / 型番：WOL-M20)

片手で引き出して、水平にセットできるケース一体型。強力マグネットと安全フックの二重安全設計。マーカーでの書き込みも可能。

■ 本体寸法：1305 mm (W) × 970 mm (H)

■ 本体重量：2.2kg 実勢価格：30,000 円

参考商品

プレゼンテーション用USBマウス・ベーシックモデル

(メーカー：コクヨ / 型番：EAM-ULW2)

ワイヤレスのため、パソコンから離れた場所においてもマウス操作が可能。

■ 通信範囲：半径約 10m 無線方式：RF(電波)

■ 本体重量：約 59g 実勢価格：8,000 円

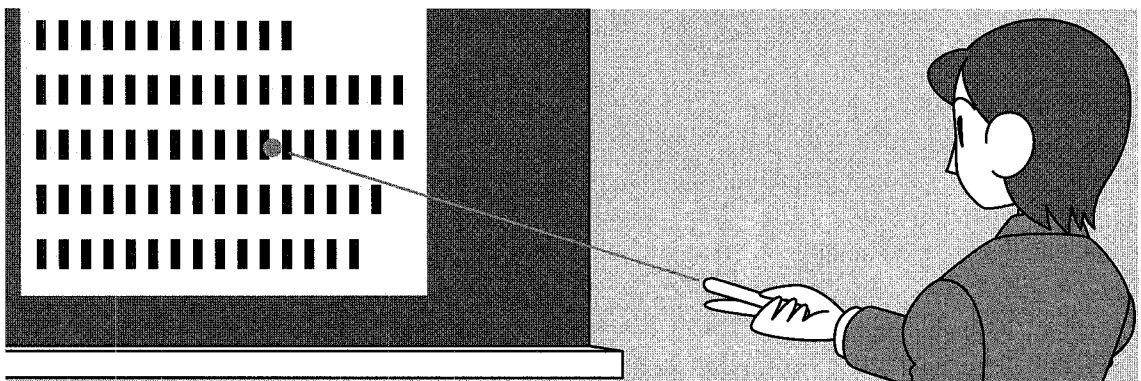
Cordless Presenter

(メーカー：Logicool / 型番：BM-1000)

Bluetoothテクノロジー採用。プレゼンテーションモードとマウスモードで使用可能。

■ 通信範囲：半径約 10m 無線方式：Bluetooth

■ 本体重量：143g 実勢価格：30,000 円



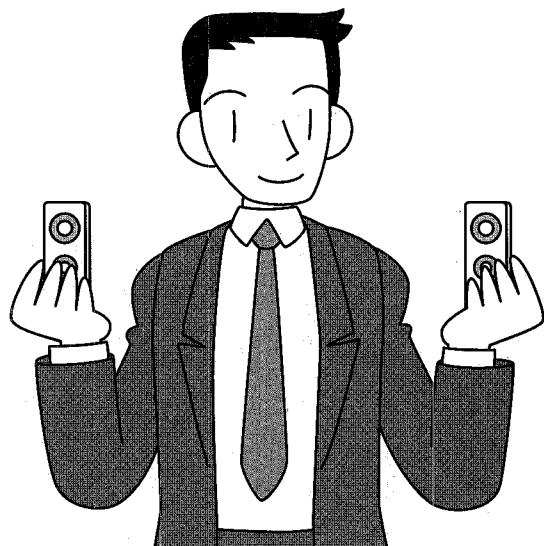
Q 4. スピーカーに関する質問

Q パソコンの内蔵スピーカーでは、教室の後ろまで音声が届かないのでは？

A 外付けスピーカーをご利用ください。高音質で携帯性に優れた製品が、手ごろな価格で販売されています。ちなみに、DVD鑑賞用のノートパソコンなど、標準で外付けスピーカーが付属する製品もあります。

ポイント

高音質・携帯性・簡単接続



参考商品

Compact Speaker

(メーカー：GREEN HOUSE / 型番：GH-SPA-215)
デジタルアンプ内蔵のコンパクトスピーカー。反響板を搭載し、音の広がりを自由に調整可能。

最大出力：3.0W (1.5W + 1.5W)

入力端子：ステレオミニジャック

電源方式：USB、ACアダプタ、乾電池

本体重量：約 300g 実勢価格：3,500 円

ポータブルUSB 接続スピーカー

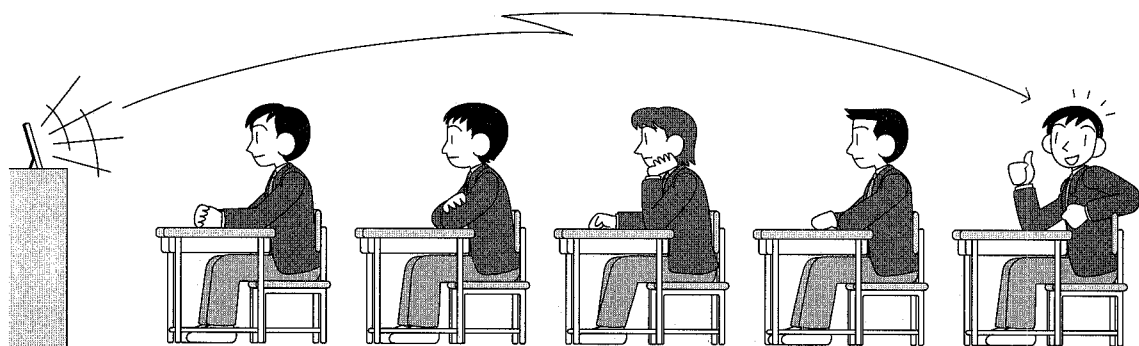
(メーカー：プリンストンテクノロジー / 型番：PSP-21M)
USB接続なので電源不要の簡単接続。さらにデジタルのクリアな高音質が再生可能。

最大出力：1W (0.5W + 0.5W)

入力端子：USB

電源方式：USB

本体重量：約 105g 実勢価格：2,500 円



USB スピーカー

(メーカー：SANWA SUPPLY / 型番：MM-SPA1)
USBケーブルでデジタルデータのまま出力できるため、クリアな音が再生可能。

最大出力：2W (1W + 1W)

入力端子：USB

電源方式：USB

本体重量：約 105g 実勢価格：4,500 円

2ch マルチメディアスピーカー

(メーカー：BUFFALO / 型番：BSPK-UU01)
外部電源不要のUSB電源方式。ノートPCユーザー向けのコンパクトモデル。

最大出力：0.5W + 0.5W

入力端子：USB

電源方式：USB

本体重量：約 250g 実勢価格：3,000 円

イラスト：木元 研次

Q 5. パソコンに関する質問

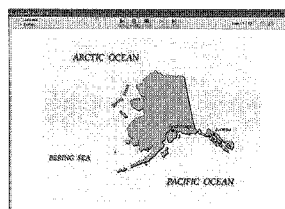
Q I T 授業って、何から始めればいいのか？

A 弊社発行の教科書完全準拠型デジタル教材『Studyaid D.B.』なら、毎日のご授業でご活用いただけます。

ポイント 教科書完全準拠型デジタル教材

『Studyaid D.B. Revised POLESTAR
English Course I 指導用 CD-ROM』
『Studyaid D.B. BIG DIPPER
English Course I 指導用 CD-ROM』
(2007 年 4 月発行予定)

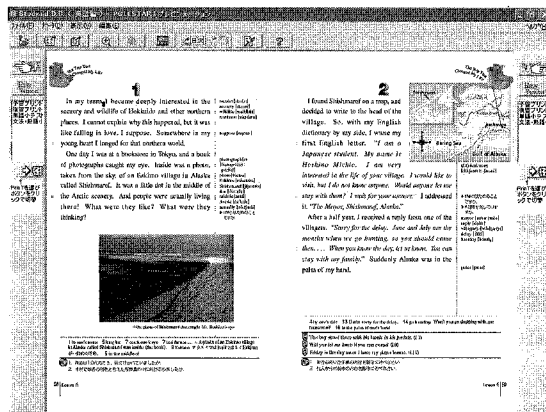
教科書と関連教材をデータベース化したソフトウェア教材です。多彩なマルチメディア機能と豊富な収録データで、授業をわかりやすく、楽しく演出します。



▲ スライドショー

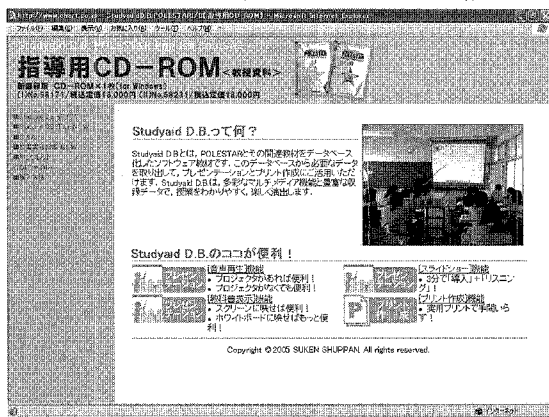


▲ 音声再生



▲ 教科書紙面表示

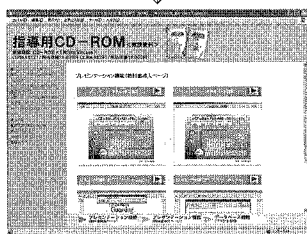
▼ トップページ (http://www.chart.co.jp/stdb_eng/index.htm)



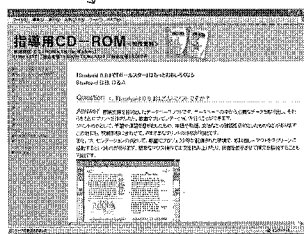
ますます充実！
Studyaid D.B.
情報発信ページ



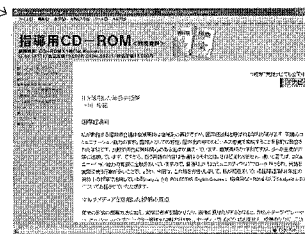
▲ 機能紹介のページ



▲ 体験ツアーのページ



▲ Q & A のページ



▲ 授業実践報告のページ